

農業現場の課題

大規模経営体の経営安定

○農地中間管理事業活用による大規模化した土地利用型法人の経営安定化

○震災後設立された大規模な土地利用型及び施設園芸法人等の技術の高度化と経営の安定化

○復旧地区のほ場整備による大区画ほ場に対応した栽培技術の導入と畑地を中心とした新たな園芸品目等の取り組み拡大

生産技術の高度化

○農地の高度利用と省力化技術やICT等先端技術の導入による低コスト化

○水田農業経営の安定化（法人化、大規模化）

○設立された法人等組織の持続的発展に向けた組織運営

○収益性の高い畜産経営の実現

○消費者から選ばれるための安全・安心の確保

地域農業の振興

○新たな担い手の確保・定着及び地域の核となる農業者の育成

○地域振興作物の生産対策と地域資源を活かした特産品開発

○都市と農村との交流等による農業・農村の活性化

○中山間地域の活性化

○鳥獣被害対策

課題の絞り込み・重点化

**平成30年度 普及指導方針
 (重点活動項目)**

1 被災地域等の経営体の体質強化と地域農業の担い手の確保・育成

大区画ほ場整備事業が実施されている被災地域において、合理的な土地利用や農地集積等を推進し、大規模農業法人の経営安定化を目指す。
 また、認定農業者、集落営農組織等の担い手育成については、中山間地域も含めた法人化や経営の多角化等による経営発展を促進するとともに、新規参入者を含む青年農業者の支援については、関係機関との連携体制を構築し、資質の向上と定着を図る。

- ①土地利用型農業や園芸を柱とした大規模営農体系の確立支援
- ②新規法人等への経営分析・診断に基づく、生産・経営の課題解決支援
- ③新たな担い手組織の育成や法人化による農業構造の再編と経営の安定化支援
- ④次代を担う青年農業者等の育成支援

2 水田農業の大規模経営体の育成

水田農業においては、経営面積が拡大する組織経営体を中心に、人・農地プランの具現化や農地中間管理事業等による農地集積を促進するとともに、土地利用型作物の体系化技術の構築や露地野菜等の土地利用型園芸の導入を図る。

- ①人・農地プランの策定及び行動計画の実践支援
- ②水田農業の大規模化・団地化等に対応できる経営体の育成支援
- ③水稲直播栽培等省力化技術の導入による生産力の向上及び生産コストの低減支援
- ④土地利用型作物のICT等活用による栽培管理の最適化・技術の体系化
- ⑤水田のフル活用に向けた園芸作物導入支援

3 仙台近郊の多彩な園芸産地の振興

仙台近郊の立地状況を生かし、収益性や競争力の高い園芸作物の生産技術向上を図りながら、新規作物の導入支援を行い、多様な経営体による園芸産地育成を図る。

- ①地域振興作物である「ねぎ」の生産組織を中心とした産地育成
- ②安定栽培技術の確立や新品種導入によるブルーベリーの産地拡大とぶどうやイチジク等の新品目導入支援
- ③環境制御システムやGAPに取り組む大規模園芸経営体への技術支援
- ④顧客ニーズの把握に基づいた直売所やインショップ向け園芸品目の栽培技術の導入支援
- ⑤中山間地域の特色を生かした新たな園芸品目等の導入支援

平成30年度 普及指導計画

プロジェクト課題（5課題）

No.1 仙台東部における土地利用型法人の経営体質の強化

- 対象：(農)せんだいあらはま、(農)六郷南部実践組合、(農)岩切生産組合、(農)ファームセケ浜、(農)グリーンファーム松島
- 計画期間：H29～H30
- 活動事項：経営者マインドの育成・組織運営体制の強化支援
水田営農を核とした複合経営の安定化支援（枝豆、ミト等）
- 目標：経営目標達成法人数 H28：0 → H29：3 → H30：5経営体

No.2 省力化技術導入による大規模土地利用型経営体の生産性向上

- 対象：みどりあーと山崎（株）（構成員5人）（大郷町）
- 計画期間：H30～H32
- 活動事項：湛水直播栽培の技術向上
土壌診断に基づいた大豆の生産性向上
株式会社での若手社員の育成と経営力の安定化支援
- 目標：水稲直播単収(kg/10a)
H29:360 → H30:390 → H31:420 → H32年450

No.3 多様な担い手による園芸を軸とした中山間地域農業の実現

- 対象：仙台西部根白石地区生産者（4人）
- 計画期間：H30～H32
- 活動事項：JA仙台女性部のカラーミニトマト等栽培技術の向上支援
水田転換事業を活用する若手農業者へのねぎ栽培技術支援
鳥獣被害対策の確認・点検の支援と知識向上。
- 目標：園芸品目の経営指標の目標収量比（ミト：3.2t/10a）
H30:70% → H31:80% → H32:100%

No.4 生産組織での新規作型の導入によるねぎ作期拡大

- 対象：(農)いさござわ生産組合（構成員35人）（大和町）
- 計画期間：H30～H31
- 活動事項：新規作型導入支援
労働時間の把握と作業計画作成支援
- 目標：出荷期間 H29:2か月 → H30:4か月 → H31:6か月

No.5 安定供給が可能なブルーベリー産地及び新たな果樹産地の育成

- 対象：富谷市ブルーベリー生産者（うち改植・新植実施者6人）、黒川郡ぶどう生産者（うち主要生産者5人）
- 活動期間：H28～H30
- 活動事項：(ブルーベリー)生産技術向上支援、有望品種導入支援
(ぶどう)生産技術向上支援
- 目標：対象者の合計出荷量（H29まで実績数量）
ブルーベリー(6人の合計)
H27:250kg→H28:738kg→H29:564kg→H30:800kg
ぶどう(5人の合計)

重点活動◎、一般活動

<地域農業班>

◎新規就農者の定着

・就農希望者、認定新規就農者等

◎中山間地域の活性化支援

・仙台西部地域JA生産部会等・大針倉内地区等

地域農業構造改革支援と地域農業の担い手の育成・確保

・各地域農業推進協議会・認定農業者、集落営農組織等

農業士会活動支援及び青年・女性農業者の資質向上

・仙台農業士会・女性農業者、生活研究サークル・仙台地区4Hクラブ、農業大学校

鳥獣被害防止対策の支援

・鳥獣被害発生地区等

<先進技術第一班>

◎園芸の産地戦略プランの生産目標達成に向けた技術支援

・大規模施設栽培法人・土地利用型作物生産組織

水稲の作柄安定と省力・低コスト稲作推進

・稲作生産者、直播栽培取組生産者

土地利用型作物の生産性向上支援

・各生産組織、集落営農組織、採種組合等

野菜の生産・品質の向上とブランド化支援

・野菜生産者等

安全・安心な農畜産物の供給支援（放射性物質検査含む）

・管内の農業者

<先進技術第二班>

◎醸造用ぶどうの安定生産に向けた支援

・醸造用ぶどう生産法人

経営体の育成

・認定農業者、法人化志向農家、農業法人、震災復興関連事業活用農家、GAP、ICT指向農家

果樹の安定生産と栽培者の活性化

・果樹農家、各生産部会・組合等

花きの良品安定生産による産地育成

・花き生産者

生産性の高い畜産経営の推進

・畜産農家等

高付加価値生産による起業支援

・直売所、農産加工者、6次化・起業志向者等